

[在籍児童数]

平成23年5月1日現在

学年	組	男	女	小計	学年	組	男	女	小計		
たんぼぼ	1組	1	1	2	4年	1組	16	10	26		
	2組	1	1	2		2組	16	10	26		
特支学級合計				4	4年合計				32	20	52
1年	1組	11	10	21	5年	1組	15	16	31		
	2組	11	10	21		2組	15	16	31		
1年合計				42	5年合計				30	32	62
2年	1組	13	14	27	6年	1組	19	11	30		
	2組	13	13	26		2組	18	11	29		
2年合計				53	6年合計				37	22	59
3年	1組	12	12	24	全校合計				173	147	320
	2組	12	12	24							
3年合計				48							

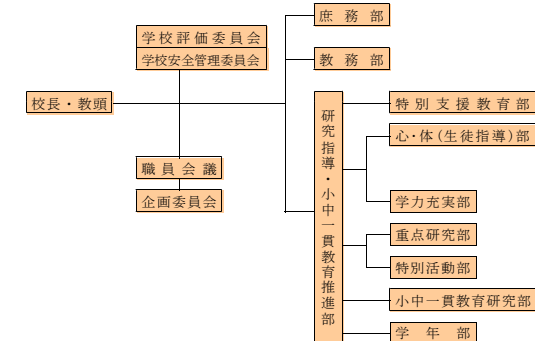
[教職員等一覧]

校長	山下 宏	教務主任	小野寺 美栄子
教頭	海老瀬 正純	少人数指導	新津 優子
少人数指導	山本 行子	通級教室	岡野 康子
通級教室	吉村 しめよ	たんぼぼ	池田 悦子
つくし	関 裕香子	1年2組	西原 由里子
1年1組	竹内 嘉枝	2年2組	水口 まゆ美
2年1組	柏 美香	3年2組	井ノ口 程子
3年1組	小畑 輝恵	4年2組	市田 康直
4年1組	倉野 みどり	5年2組	山崎 眞理子
5年1組	高橋 啓子	6年2組	井ノ口 淳史
6年1組	水嶋 浩哉	養護教諭	植村 美樹子
小中連携加配(外国語)	今木 比佐子	事務職員	松本 美和子
栄養教諭	西本 真里	用務技手	小山 吉彦
図書館司書	山本 その子	調理師	加藤 文子
調理師	中村 泰子	調理師	池本 幸子
調理師	藤井 佐紀子	いきいき支援員	竹島 有香
いきいき支援員	藤熊 梓		

運営支援員	北村 進	朝子 攻	福嶋 宏子
学校評議員	奈佐 廣海	伊藤 敏雄	井戸本 道衛
交通指導員	東島 キヌエ	青木 愛子	

内科医	二宮 宏
歯科医	塩野 充
眼科医	藤倉 貴久 男
耳鼻科医	大嶋 章 裕
薬剤師	山本 明子

[主な分掌組織]



[学校の沿革]

- 昭和53年 4月 6日 開校式、入学式、20学級(1~5年生) 初代校長 岩淵 淳 校章制定
- 4月28日 育友会成立総会
- 10月1日 第2期校舎増築工事着手
- 昭和54年 4月 1日 ことばの教室開設
- 4月 3日 プール完成記念式
- 昭和55年 2月 1日 玄関前築山完成(第1回卒業生寄贈)
- 3月 1日 校歌制定発表会
- 4月 1日 第2代校長 寺嶋 和夫
- 昭和56年 4月 6日 障害児学級(たんぼぼ学級)開設
- 9月10日 アスレチック完成
- 昭和57年 3月19日 壁面大時計(東・西校舎)
- 3月24日 正門前信号機設置
- 昭和58年 3月19日 壁面校章等(第4回卒業生寄贈)
- 体育館前植栽整備、運動場[楠]等植樹
- グランドピアノ等(第5回卒業生寄贈)
- 昭和59年 3月19日 第3代校長 山上 道子
- 昭和60年 3月13日 自転車置場設置
- 昭和61年 3月31日 本館前庭舗装整備
- 4月 1日 第4代校長 岩崎 仁
- 昭和62年 3月 4日 体育倉庫設置
- 昭和63年 2月27日 創立10周年記念式典(~2月28日)
- 3月19日 百葉箱と通路(第9回卒業生寄贈)
- 4月 1日 第5代校長 佐藤 雪枝
- 平成元年 3月18日 体育館大時計等(第10回卒業生寄贈)
- 平成2年 3月12日 学校園完成
- 平成3年 4月 1日 第6代校長 古川 雅巳
- 平成4年 3月12日 水辺の暮らし資料室開室
- 平成5年 2月 5日 京都府学校給食努力校受賞
- 4月 1日 第7代校長 河原林 理
- 平成6年 11月25日 社会科・生活科研究発表会(市指定)
- 平成7年 5月 1日 宇治市福祉教育実践校指定
- 平成8年 4月 1日 第8代校長 長谷川 紀夫
- 平成9年 3月31日 北校舎屋上防水工事
- 5月 1日 宇治市環境教育実践校指定
- 9月 1日 来賓用玄関設置
- 平成10年 2月15日 体育館周辺植樹
- 9月20日 飼育舎全面改修
- 11月 3日 創立20周年記念式典
- 平成11年 4月 7日 情緒障害児学級(つくし学級)開設
- 5月 1日 宇治市福祉教育実践校指定
- 8月27日 ことばの教室改修
- 平成12年 4月 1日 第9代校長 木守 正幸
- 8月25日 校舎内改修工事(廊下、壁、トイレ)
- 9月 1日 図書ボランティアの活動開始
- 平成13年 4月 1日 学力定着サポーター(算数)配置(宇治市より)
- 5月22日 平成13、14年度府小教研研究協力校(情報教育)
- 6月 7日 平成13、14年度LDに対する指導体制の充実事業研究協力校指定
- 平成14年 4月 1日 少人数加配配置による授業の開始
- 11月12日 府小教研情報教育研究協力校発表会
- 平成15年 4月 1日 第10代校長 駒井 道夫
- 9月 体育館改修
- 平成16年 4月 1日 平成16、17年度地域ふれあい体験活動推進校指定
- 食に関する指導の実践モデル校指定
- 平成16~18年度ボランティア活動普及事業指定
- 平成17年 4月 1日 第11代校長 山花 啓伸
- 平成18年 2月23日 「ここにこ広場」完成(学校環境緑化モデル事業)
- 4月 1日 視覚障害学級(はるかぜ学級)開設
- 平成19年 4月 1日 第12代校長 西城 哲
- 平成19年 6月 6日 プール改修工事(濾過機交換・プール塗装)
- 平成20年 10月25日 創立30周年記念式典
- 平成22年 4月 1日 第13代校長 山下 宏

平成23年度

学校要覧



宇治市立南小倉小学校

〒611-0042
京都府宇治市小倉町南浦40-1

電話 0774 (39) 9131

Fax 0774 (39) 9132

<http://www.uji.ed.jp/minamiogura-es/>

Email : minamiogura-es@uji.ed.jp

平成23年度 教育目標及び学校経営方針

1 教育目標

京都府並びに宇治市の学校教育指導の重点に基づき、児童の実態をふまえ、家庭や地域との密接な連携をもとに、心身ともに健全で自主・自立の精神に富み、豊かな個性と創造性のある児童の育成に努める。

2 めざす児童像

- (1) 強くやさしい心の子(徳育)
- (2) たくましくじょうぶな体の子(体育)
- (3) 自ら考え、がんばりぬく子(知育)
- (4) 力を合わせてよく働く子(知・徳・体育)

3 めざす学校像

- 子どもたちが、「楽しく」、「生きる喜び」や「学ぶ喜び」を実感できる学校
- 保護者が、子どもを通わせたい学校
- 教職員にとって、健康で明るく、やりがいをもって働ける学校

4 学校経営の重点

- (1) 個に応じた指導を充実させ、義務教育9年間を見通した「確かな学力」を身につけさせる。
- (2) 道徳教育の充実、異年齢集団活動や地域と連携した様々な体験活動等を通し、豊かな心を育む。
- (3) 体力の向上や心身の健康増進に努め、健やかな体を持った子どもを育成する。
- (4) 小・中学校の連携をさらに強化し、小中一貫教育の実施に向けた研究実践を充実させる。
- (5) 家庭・地域に開かれた学校づくりに努め、信頼される学校を築く。

主な行事

- 4月 1学期始業式(6日) 入学式(7日)
- 5月 縦割出発式 1年生歓迎集会 避難訓練 春の遠足
- 6月 修学旅行6年 林間学習5年 プール開き
- 7月 1学期終業式(20日)
- 8月 (夏休み7/21~8/26)
- 2学期始業式(8/29日)
- 10月 運動会(1日) 秋の遠足
- 11月 宇治市教育月間 休日参観(12日) 個人懇談会
- 12月 人権週間 2学期終業式(22日)
- 1月 3学期始業式(10日) 避難訓練 参観書き初め展
- 2月 新1年体験入学 給食週間 参観懇談会・造形展
- 3月 6年生を送る会 感謝の集い 卒業証書授与式(19日) 修了式(23日)

特色ある教育活動



子どもたち一人一人に確かな学力を身につけ、豊かな人間性、健康や体力などの「生きる力」の育成を図るため、「言葉を大切に、豊かに表現できる児童に」を研究の柱に、特色ある様々な教育活動を進めています。

地域との連携

地域ふれあい体験活動や社会人講師招聘による地域の高齢者の方々等との交流をはじめ、地域と連携した取組を通して、児童の豊かな社会性を育てています。



めざす児童像

- (1) 強くやさしい心の子(徳育)
- (2) たくましくじょうぶな体の子(体育)
- (3) 自ら考え、がんばりぬく子(知育)
- (4) 力を合わせてよく働く子(知・徳・体育)

開かれた学校づくり

広報やホームページで教育情報を積極的に発信するとともに、地域や保護者の方々の願いを受けとめた学校教育の推進に努めています。

小中一貫教育に向けて

小中一貫教育の実施に向け西小倉中校区小中3校の連携をさらに強化し、義務教育9年間を見通した学力充実や小・中学校間の円滑な接続に向けた研究実践を進めます。

異年齢集団活動

異年齢集団による日常の清掃活動や児童会活動をひとつの柱に児童の望ましい人間関係や社会性を育みます。運動会等様々な行事で、異年齢のつながりを基盤にした活動を進めています。



豊かな表現力の育成

「言葉を大切に深く読み、豊かに表現できる児童に」を研究テーマに、「ことばの力」を高めながら、「豊かな感性」「仲間を受け止める集団」「語彙力・論理的思考力」等の育成をめざして、実践的研究を進めています。



食育と体力の向上

食を通じて自らの健康管理ができる力の育成や体育科での指導の工夫や遊びの奨励など健康と体力向上に向けた取組を進めています。



義務教育9年間を見通した確かな学力の育成

すべての基礎は児童一人一人の個に応じた指導の充実による基礎学力の充実・向上です。「子どものための京都式少人数教育」の趣旨を生かした国語・算数科での少人数授業をはじめ、朝学習や放課後等の補充学習、読書活動の充実等を通して基礎基本の徹底を図り、小・中学校間の円滑な接続に留意しながら教科義務教育9年間を見通した学力充実を進めています。

- <1>担任と加配教員による国語・算数科の少人数授業等を充実させ、基礎的基本的な知識・技能とそれを活用する力など、質の高い「確かな学力」の定着・向上を図ります。
- <2>朝学習(「算数タイム」等)などを活用した全体での補充学習を進めるとともに、放課後や休み時間等を活用した個別指導を徹底し学力の定着を図っています。
- <3>西小倉中校区の連携を強め、中学校教員(小中連携加配)とのチームティーチングによる外国語活動や高学年での教科担任制の拡充など、小・中学校間の円滑な接続に向けた指導を充実させます。
- <4>全校読書タイムの取組や図書ボランティア等を活用して、学力の基盤となる読書活動の充実を進めています。
- <5>支援員等を有効に活用し、児童一人一人のニーズの応じた特別支援教育の充実をさらに進め、個に応じた指導を徹底しています。



